

## 第1回 既卒生激励会

# 「頑張れ！ 舟入高校既卒生」

3月28日(木)に「第1回既卒生激励会」を行いました。今春卒業した3年生30名が出席しました。学校長からの激励や、今年大学合格を果たした昨年の卒業生の体験談やアドバイスに耳を傾け、1年後の「捲土重来」を誓いました。

- ① 学校長激励のことば
- ② 進路指導主事からの話
- ③ 昨年度卒業生の話(5名)
- ④ 旧3学年主任の話
- ⑤ 旧担任との面談

### 「夢」の実現に向かって

進路指導部

1. 入試の結果をいつまでも引きずらない！
2. 失敗の原因を冷静に分析せよ！
3. 自分を甘やかすな！
4. 目標なくして合格なし！
5. 睡眠・食事時間以外はすべて学習！
6. 苦手科目・分野はプライドを捨てて基本に戻れ！
7. 大学に進学した友人と連絡をとるな！
8. 残り10ヶ月で自分の将来が決まる！
9. 浪人有利は夏まで、本気で学習してくる現役は手強い！
10. くじけそうになったら舟入高校に！！！！

### <先輩方からのアドバイス>

#### 1. A君 (京都大学 人間科学部 合格)

- ・現役時代の失敗は問題の反復演習をやっていなかったことと、好きな科目ばかり偏って勉強してしまっていたことだった。
- ・予備校の授業は、初めは基礎からやるが、「わかっている」と思わずに基礎の勉強をしっかりとやるのが大切。予習→復習を必ずやること。そしてとにかく量をやること。  
現役時代にいかに勉強していなかったかを痛感した。
- ・予備校での友人選びは慎重にしよう。お互いに励ましあえる関係を築こう。  
なかには学習に集中できていない人もいるので、そこに巻き込まれないようにしよう。
- ・問題集の数はたくさんなくてよい。あれこれ手を出すのではなく、これと決めた問題集を徹底的にやるのがよい。

#### 2. B君 (九州大学 農学部 合格)

- ・現役時代にも通塾していたが、授業を受けるだけで予習、復習をしっかりとやっていなかった。  
また、センター試験後には過去問題を解くばかりで、復習を疎かにしていた。その結果、九州大学を受験した際、数学の問題に全く歯が立たなかった。自分の学習が甘かったことをその時思い知った。

- ・現役時代は予習をせずに授業中に問題を解くようなことをしていたが、予習が大切。予備校時代は授業の予習を本番の試験を受けるシミュレーションだと考えて、真剣にやった。
- ・解き方を工夫しよう。数学であれば、解法を複数試してみて、とことん考える。
- ・予備校の授業はとにかく真剣に受けた。板書を移すだけでなく、先生の発言を全て聞き漏らさないようにした。知っているつもりの知識でも謙虚な気持ちで受け止めることが大切。
- ・自己管理（生活リズム・体調・学習時間）をきちんとすることが大切。自分は1年間、朝起床したらすぐに予備校に行き（授業のあるなしに関係なく）、1日も休まずに通った。
- ・スマホなどの誘惑に負けないように！！
- ・時々、伸びていないのではと不安に襲われることがあるが、それを払拭するにはとにかく勉強するしかない。

#### ・1年間の流れ

3月 入試後、予備校で毎日自習（苦手科目・分野をつぶすことに努めた）

※気持ちを切り替えて辻の受験への早いスタートを切ることが重要。

4月～7月 基礎固め・復習

夏休み 基礎の復習・テキスト問題の反復（数学の問題集は3周やった）

9月～センター試験 予習の段階でアウトプットの練習（解答の作り方）

センター試験後 初めて過去問題に取り組み始めた。（本番通りの時間・集中力で）

丁寧な復習をすることで力を伸ばした。



### 3. C君（京都府立大学 生命環境学部 合格）

- ・勉強方法は人によって何が効果的か違うので、自分なりに工夫をすることが重要。
- ・2回目のセンター試験は現役時代より190点伸びた。ただ二次力の伸びには不安があったので志望を変更した。その見極めも必要だったと思う。
- ・浪人期間は“自分を見つめ直す”貴重な時間でもあった。自分をより客観的に見る事が出来るようになり、本当に自分に合った進路についてよく考えることができた。
- ・長い受験期間を乗り越えるうえで最も大切なことは、オン・オフの切り替えをすることと、必ず毎日続けること。

### 4. D君（一橋大学 商学部 合格）

- ・浪人して伸びたのは数学。4月は偏差値が49しかなかったが最終的に76まで上がった。数学の基礎は公式を暗記して学習した。自分の場合ひらめきがなかったが、覚えた基礎的な公式の中から必要なものを選び出すことも思考なので、例えば「最大・最小」ならいくつかのパターンを身につくようにした。
- ・国公立大学が第一志望で私立大学は本命でなくても、私立大学の入試を受けるならば真剣に受けること。合格することで自信に繋がる。



### 5. Eさん（広島市立大学 国際学部 合格）

- ・前期、夏休みでテキストをやり込む、最低3回同じものを繰り返して基礎を完成させた。
- ・授業の中で「知っているし」と思うものも多いと思うが、思考の範囲が広がるのでしっかり授業を受ける。集中を切らさないこと。
- ・「何」が「どう」わからないのかを明確にしてから先生に質問することで、論理的な思考力が身についたと思う。
- ・予習→授業→復習のサイクルを確立させること。このパターンが身につくと学習のスイッチが入りやすい。
- ・一度、予備校からの請求書を見てみよう。どれだけこの1年浪人することで親に負担をかけているかが実感でき、身が引き締まる。
- ・自分は大学に進学した友人と連絡をとり、大学生活の様子を聞いてモチベーションをあげた。

どの先輩方も次の5点を共通して伝えてくれました。

- ①分かっているつもりのことでも始めは基礎から徹底的に復習すること。  
堅固な土台作りが後々の伸長を後押しする。
- ②基礎学習時にはとにかく反復・継続・量が重要。
- ③自分の課題を明らかにする意味で予習が重要。
- ④生活リズムなどの自己管理が重要。
- ⑤予備校は休まない。授業のあるなしに関わらず、朝から行く。

卒業生の皆さんは熱心に聞いていました。これからの1年間を有意義に過ごし、来春の合格を手にするための有益なアドバイスをもらうことが出来たと思います。  
先輩のみなさん、ありがとうございました。